

総合診療科シニアレジデント

■プログラムの特徴

本コースは、内科プログラムの一般目標に加え、病院総合診療医(総合内科医(現 総合内科専門医))として求められる役割の修得が目標です。

具体的には 1)臓器・疾患によらず最新の知見に基づいた医療の実践 2)研修医を含めたスタッフへの教育 3)診療科横断的な院内マネジメント活動これらに必要な知識・技能・態度の修得を目指しています。

なお、総合診療科という名称と当院の実態に関して若干補足します。より専門性を追求される医療のニーズが高まる中で、一般診療所との機能分化の要請、社会環境の変化や高齢化、多くの合併症を有する患者の増加などから、当院の総合診療科は 2009 年に内科系診療科として創設されました。専門領域を越えた病院総合医の活躍できるフィールドが拡大していることは、当院のみでなく日本の基幹病院に共通した現象と考えられ、その中で本プログラムは、将来的に当院を含めた地域基幹病院で病院総合診療医(総合内科医)として能力を発揮できる医師の育成を目指しています。総合診療領域を志す医師の中には、小児科・産婦人科領域を含めた、より家庭的な立ち位置を理想とする者、開業・往診など、よりプライマリ・ケア的な立ち位置での仕事を考えている者、ER 医・集中治療医のような急性期総合診療に重点を置きたい者など、各個人で将来像は異なります。

そうした個々の研修目標を対応できる診療科であり、病院総合診療医として機能しつつ周囲のニーズに応じて ER 医や家庭医などに軸足を適宜移せる可塑性こそ病院総合診療医(総合内科医)に求められる基本的能力と考えています。

現在、厚生労働省では専門医制度改革について、日本専門医評価・認定機構を中心として検討されるなか、平成 27 年度には新たな後期研修制度が開始され、総合診療科が 19 番目の基本診療科となることが決まっています。

総合診療専門医の認定については、まだ決定されてはいないとしづ過渡期中、本プログラムは、総合診療医(総合内科医)の育成という観点から、日本内科学会内科専門医(現総合内科専門医)の取得、また(陶病院・三豊総合病院、合同にて)日本プライマリ・ケア連合学会病院総合医養成プログラム認定事業に準拠した行動目標を設定しています。

平成 27 年度に新たに後期研修医制度が始まるにあたり、(次々期後期研修医研修プログラム運用開始までは、)上記コンセプトの下、研修をすすめます。希望があれば研修内容について、関連各科での研修も含め、柔軟に対応することも可能です。また、当然ですが、プログラムは各科の専門医資格の取得に向けた選択・修練期間としても位置づけています。さらに将来、一人の医師として、指導的な立場にもなれるような専門医を育成することを目標としています。そうした個々の研修目標を対応できる診療科であり、病院総合診療医として機能しつつ周囲のニーズに応じて ER 医や家庭医などに軸足を適宜移せる可塑性こそ総合診療医(総合内科医)に求められる基本的能力と考えています。

従って病院総合診療医としての専門性に加え、診療の幅を身につけるため多彩な選択研修(sub-specialty 科領域での研修)を主体的に構成し、目標とする医師像、病院総合診療医(総合内科医)像を自ら創造できる研修医の応募を期待しています。

■総合医・家庭医研修コース

1年目は内科および小児科(入院, 初診外来, 救急外来, 検査など)、2年目以降は地域の病院で少なくとも1年以上診療し, 包括的・継続的な, 患者中心・家族志向の医療を提供する能力を修得する。

その他の科を含む選択も希望に応じる。検査手技の習得に関しても各科専門医の指導を仰ぐことも可能である。

3年以上(36か月)以上

基本診療科研修 12か月以上

内科 6か月以上、小児科 3か月以上、救急科 3か月以上

(それぞれの専門医制度と相乗りで行う)

関連診療科研修(原則 6か月)

外科・産婦人科・整形外科・精神科・眼科・皮膚科など

(初期臨床研修で外科を選択していない場合には、3か月外科が必須)

総合診療に関する専門研修(18か月)

6か月以上臓器に特化しない総合的内科研修

6か月以上診療所・中小病院をバランスよくローテイトする

◇研修の一例

	研修内容	研修施設
後期研修医 1年目(卒後 3年目)	内科(6か月)・小児科(3か月)・他 3か月	香川県立中央病院
後期研修医 2年目(卒後 4年目)	地域医療	綾川町陶病院
後期研修医 3年目(卒後 5年目)	選択	選択

■病院総合医研修コース

◇研修の一例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
後期研修医 1年目(3年目)	総合診療/選択			選択/ER			選択/ER					
後期研修医 2年目(4年目)	選択/ER			総合診療			地域医療/選択					
後期研修医 3年目(5年目)	ER	総合診療			選択(外部選択)			総合選択				

後期研修医 1年目(卒後 3年目) : 内科系ローテート(2~4ヶ月×6診療科)

後期研修医 2年目(卒後 4年目) : 総合診療科 4ヶ月+内科系ローテート(2ヶ月×4診療科)

後期研修医 3年目(卒後 5年目) : 総合診療科 12ヶ月

原則として、最初の2年間で全内科系診療科(9科※)、地域医療、救急医療を2~4ヶ月ずつローテーションする。

※呼吸器、循環器、消化器、肝臓、神経、腎臓・勝原病、血液、糖尿病内分泌